

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-4	安全で快適な生活環境を形成します
基本計画(施策)	3-4-1	・利便性の高い公共交通の確立

	課	係
主管課・係	総合政策課	地域振興係
関係課・係	各総合支所振興課	企画観光係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①利便性の高い公共交通機関の確立により、積極的に公共交通を利用し誰もが快適に生活できる。</p>																																		
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>②会津線、会津鬼怒川線、生活路線バス、乗合(デマンド)タクシー等の公共交通を利用者のニーズに合った総合かつ効果的な運行形態の整備。</p>																																		
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 乗合タクシー利用者数</td> <td>人</td> <td>13,687</td> <td>14,000</td> <td>12,623</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td>B 会津・野岩鉄道輸送人員</td> <td>人</td> <td>883,426</td> <td>966,000</td> <td>813,107</td> <td>※966,000</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	A 乗合タクシー利用者数	人	13,687	14,000	12,623	14,000	B 会津・野岩鉄道輸送人員	人	883,426	966,000	813,107	※966,000	C						D						
			単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度																												
	実績値	目標値		実績値	目標値																														
A 乗合タクシー利用者数	人	13,687	14,000	12,623	14,000																														
B 会津・野岩鉄道輸送人員	人	883,426	966,000	813,107	※966,000																														
C																																			
D																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ④ 下回った</td> <td>利用者(高齢者)の減少</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>公共交通体系の見直しによる運行や運転免許証自主返納者支援事業の改善</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>災害及び事故により運休があったほか、首都圏からの観光客減少や沿線市町村の少子高齢化による減少</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>各鉄道会社の次期計画による運行及び他公共交通機関との連携</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ④ 下回った	利用者(高齢者)の減少	③ 取組改善で達成可能	公共交通体系の見直しによる運行や運転免許証自主返納者支援事業の改善	B ④ 下回った	災害及び事故により運休があったほか、首都圏からの観光客減少や沿線市町村の少子高齢化による減少	③ 取組改善で達成可能	各鉄道会社の次期計画による運行及び他公共交通機関との連携	C				D				<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>														
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																
A ④ 下回った	利用者(高齢者)の減少	③ 取組改善で達成可能	公共交通体系の見直しによる運行や運転免許証自主返納者支援事業の改善																																
B ④ 下回った	災害及び事故により運休があったほか、首都圏からの観光客減少や沿線市町村の少子高齢化による減少	③ 取組改善で達成可能	各鉄道会社の次期計画による運行及び他公共交通機関との連携																																
C																																			
D																																			
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証自主返納者支援事業の改善検討 ・各乗合タクシーの路線見直しの検討 ・デマンド交通実証実験運行 ・総合的な公共交通体系の構築に向けた調査検討や事業者との協議 																																		
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用したい時間に合わない、停留所が遠い等の意見。 ・交通空白地区があるので、乗合タクシー等でカバーしてほしい。 																																		

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証自主返納者の増加により、公共交通機関利用者も増加している。 ・利用者のニーズに合った運行形態を構築するためにデマンド交通運行の実証実験を行うことにより、課題が見えた。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズが多様化しておりニーズに応えることが難しい。 ・交通事業者の運転手不足が深刻化しているため、運行維持が困難である。 ・利用者が少なく運行経費が増大しており、必要性が問題視されている。

【結論として…(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>・地域住民が本当に必要としている公共交通について地域の声を拾い上げ、これまでの運行形態の見直しも含め、新たな公共交通の仕組みを改めて考える必要がある。</p>										
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th style="width:50%;">具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者のニーズに合った総合かつ効果的な運行形態の整備。</td> <td>自家用有償旅客運送の導入やタクシー補助券導入等の検討、さらにスクールバスも含めた地域に合った効果的運行の検討、検証。</td> </tr> <tr> <td>会津線、会津鬼怒川線の観光資源化を目指し、沿線の豊富な観光資源を有機的に結び付け、新たな利用者層の発掘。</td> <td>福島県や沿線市町を中心に広域的な連携による利用促進活動の実施。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	利用者のニーズに合った総合かつ効果的な運行形態の整備。	自家用有償旅客運送の導入やタクシー補助券導入等の検討、さらにスクールバスも含めた地域に合った効果的運行の検討、検証。	会津線、会津鬼怒川線の観光資源化を目指し、沿線の豊富な観光資源を有機的に結び付け、新たな利用者層の発掘。	福島県や沿線市町を中心に広域的な連携による利用促進活動の実施。				
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策										
利用者のニーズに合った総合かつ効果的な運行形態の整備。	自家用有償旅客運送の導入やタクシー補助券導入等の検討、さらにスクールバスも含めた地域に合った効果的運行の検討、検証。										
会津線、会津鬼怒川線の観光資源化を目指し、沿線の豊富な観光資源を有機的に結び付け、新たな利用者層の発掘。	福島県や沿線市町を中心に広域的な連携による利用促進活動の実施。										

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	地域乗合タクシー 運行事業	総合政策課	目的	公共交通機関空白地域の交通弱者の足として運行し、安心して生活できる環境の確保を目指す。				
			概要	公共交通機関空白地域における乗合タクシーの運行。				
			成果	町内4路線を運行し、デマンド交通の実証実験も行い町民の利便性が図られた。				
		地域振興係	問題	利用者が固定化されているため年度によって増減がある。利用者のニーズが多様化する中で、利便性の向上による利用者の増加及び経費削減が課題となっている。				
			対策	デマンド交通やタクシー券補助などの配付等の検討、さらにスクールバスを含め総合的に検討が必要であり、地域特性に合った効果的な運行の検討検証を進める。				
			事業費	31,279	26,274	33,882	23,807	-
02	第三セクター鉄道 経営支援対策事業	総合政策課	目的	第三セクター方式による会津線及び会津鬼怒川線の円滑な運行を維持し、住民の福祉の確保と地域振興を図る。				
			概要	会津鉄道・野岩鉄道に対する経営安定化と施設整備の支援。				
			成果	会津線、会津鬼怒川線の安全安心で円滑な運行が確保された。				
		地域振興係	問題	首都圏からの観光客減少、沿線住民利用の減少により経営状況が悪化している。				
			対策	福島県や沿線市町を中心に広域的な連携による利用促進活動を実施する。				
			事業費	23,475	75	42,715	115	-
03	公共交通対策事業	総合政策課	目的	鉄道及び生活路線バス並びにスクールバス等の公共交通機関の安定的な運行を確保する。				
			概要	町公共交通対策協議会を通じて、町内の公共交通体制の利便性の向上を図る。				
			成果	公共交通機関の利用促進に向けた住民意識の向上が図られた。				
		地域振興係	問題	総合的な公共交通体系の構築に向けた調査検討から実施へ移行することができなかった。				
			対策	総合的な公共交通体系の構築に向けた調査検討及び公共交通機関の利用促進に向けた住民意識の向上を図る。				
			事業費	61,671	61,671	59,494	4,094	-
04			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
05			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
06			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			116,425	88,020	136,091	28,016	-	-